

看護分野の研究における 著者キーワードについての分析と統計

松坂敦子(埼玉医科大学保健医療学部図書館)、阿部由美子(市原看護専門学校図書室)、
稲葉京子(亀田医療技術専門学校図書室)、須田陽子(東海大学医療技術短期大学図書館)

1. はじめに

文献検索を行う場合、重要なのは入力する言葉の選び方である。利用者から「文献が見つからない」という質問に対し、どのような言葉を入力したのか聞くと、言葉というよりは文章に近かったり、いくつもの言葉を組み合わせていたりすることがある。特に看護分野の研究では、患者や家族の心理状況などに関する研究においては、選ぶ言葉も難しい。そこで、看護分野の研究では著者は自分の論文に対してどのようなキーワードを付与しているのか調査を行った。

2. 調査対象

調査対象は「日本看護学会論文集」の第34回(2003年)から第36回(2005年)の3年間で、母性看護・地域看護・看護管理・看護教育・看護総合・老年看護・成人看護Ⅰ・成人看護Ⅱ・小児看護の各分野2,538論文に付与された著者キーワードをリストアップした。

3. 調査方法

各分野別に下記の項目において調査を行った。

- 1)各論文に付与された著者キーワードから、最新看護索引・医中誌 Web. Ver4・J-DreamⅡにおいて該当論文が検索できた論文数
- 2)著者キーワードと最新看護索引の件名(キーワード)索引、あるいは各データベースにおけるシソーラス用語との一致している割合
- 3)著者キーワードと各データベースシソーラス用語と一致しているものがあつた論文の中で、著者キーワードを入力して該当論文が検索できた論文数
- 4)筆頭著者を臨床機関・養成機関・その他に分類し、臨床機関と養成機関における上記3項目の調査
- 5)著者キーワードを集計し、多かつた著者キーワードと最新看護索引の件名(キーワード)索引、あるいは各データベースのシソーラス用語との一致したものの中で多かつたものと不一致だつた中で特徴的なあるいは特異なものについて

4. 結論

調査の結果から、看護分野の研究者におけるキーワードの概念について分析を行った。